

なくせ失業と貧困 雇用を守れ!

第80回群馬県メーデー利根沼田集会

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をスローガンに1日、第80回群馬県メーデーが県内7カ所で開かれ、午後6時から沼田公園で利根沼田集会が開かれ、約170名が参加しました。



キネマ通りをデモ行進する参加者

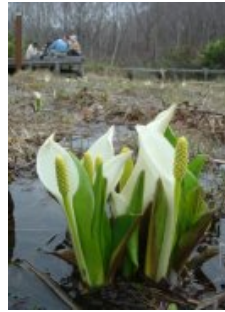
集会では、利根労働組合会議長のあいさつや、各団体の代表からくらしと福祉の充実、中小業者の営業を守ることなどの訴えがありました。

集会後は、市役所までデモ行進がおこなわれました。

玉原に春 湿原で水芭蕉が咲きはじめました

玉原高原に春の訪れをつげる水芭蕉が、今月の上旬ごろから咲きはじめ、見ごろをむかえています。

玉原高原にはまだ雪が残り、ブナの芽吹きもこれからですが、湿原には春をつげる水芭蕉が咲きはじめ、連休中には多くの人々が湿原を訪れ、高原の春を楽しんでいました。



玉原湿原の水芭蕉

戦争する国にさせてはいけない

大東議員 憲法記念日に街頭から訴え

3日の憲法記念日に大東議員は、原沢議員（みなかみ町議員）と「日本を再び戦争する国にさせないために、憲法を守り、憲法を生かした政治に転換させましょう」と、街頭から訴えました。

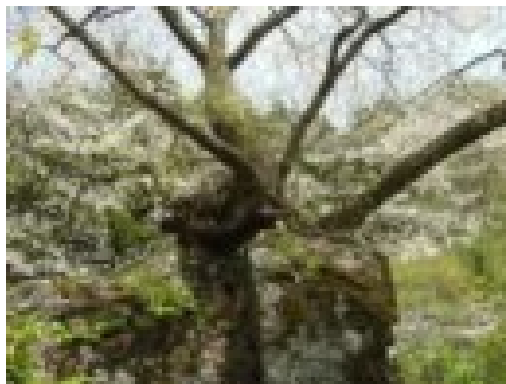
大東議員は、上原町や税務署前、裁判所前など5カ所で訴え、原沢議員が月夜野で訴えました。

車のなかから手を振って、激励してくれる人がたくさんいました。



岩を割くサクラ 白沢町の石割桜

白沢町の「石割桜」は、樹高が約5.2m、根回り1.5mあり、大きな岩のほぼ真ん中を割いてのびる



根は、力強さを感じさせます。

白沢町の歌「白沢よいところ」にも登場するなど白沢の人には親しまれているサクラです。

岩を割き根を張る「石割桜」

2009年5月10日

NO.172

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 TEL23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆきです



発熱や咳など感染した可能性がある人は、直接病院を受診せず、電話で相談することが初歩中の初歩ですが、相談窓口が県内一カ所程度では十分とはいえ、地域医療に責任を負う保健所を充実させるとともに、「発熱外来」などを早急に整備するなど、感染が拡大する前に政府は取り組みを急ぐ必要があります。

こんにちは。アメリカやカナダなど新型インフルエンザが広がっている地域から帰国した人たちに、感染が疑われるケースが相次ぎ、世界保健機関（WHO）は、世界的大流行一歩手前の「フェーズ5」に達したと発表するなど、日本国内にも感染が広がることと予想されるなか、万全の対策が急がれています。政府は、国民に新型インフルエンザについての知識を持ってもらうようにするとともに、外出の際のマスクや、うがい、手洗いなど日常的な感染防止の対策をすすめることです。

ぶらい散歩 めまた道 沼田地区 その十二 西原新町 十二山神社



西原新町は、真田氏四代目城主信政によって慶安元年(1648)に「原新町」として町が割り立てられ、沼田における10番目の町として誕生しましたが、本町三か町、鍛冶町、材木町が最初に割り立てられてから88年後になり、町のはずれだったことになりました。

西原新町十二山神社 十二山神社は、明治時代に材木町の神明宮に合祀されましたが、大正時代に死人が出るほどの悪疫がはやり、町から神社がなくなったからと考え、再び元の場所に社殿を移しました。

原新町は、会津街道と迦葉山道の玄関口として栄え、その名残となる道標が中央病院入り口の交差点に残されています。日光 迦葉山への道標



日本共産党利根沼田地区委員会 ホームページを開設
アドレスは www5.kanet.ne.jp/~jcp-tn/

日本共産党利根沼田地区委員会では、4月20日からホームページを開設しました。ホームページには、地域の話や国政のことなどがもりだくさんです。JCP-TNで検索を。